



議会報告会で訴える！

in嘉楽中学校

- ①だれもが安心してかかれる国保に
- ②家計を豊かにし、地元企業に支援を
- ③消費税増税にきっぱり反対を！

◇「高い国保料金を何とかして」多くの人の声がよせられています。

◆なぜ高いのか？ 国の負担金が半分に減った。京都府の独自の市町村への援助とが、最高7億6千万円あったが、今はゼロに知事とオール与党がしたのが原因。

◆保険料を払えない世帯が9万人におよび、さらに保険証の取り上げも行われ、京都府内で約5千世帯になつている。

◇しかし知事を追求し、今では高校生まで保険証の交付を実現させました。

◎保険証の取り上げをやめさせ、だれもが払える国保料にし、安心してお医者さんにかかれるようにします。

国保料を安くして



地元企業を支援すべきだ！

業者の声は「仕事がない、何とかならないか？」

この10年、京都の中小企業は5件に1件が廃業・倒産に追い込まれています。京都経済の根幹をなす中小企業を応援してこそ、経済の再生につながります。

しかし、京都府は「大企業を誘致すれば経済は良くなる。中国などへ進出する企業を支援すればよい」という考え方。

2億円の支援を受けた村田製作所は4500人の非正規にし、雇用を生み出せません。

「交付金」が交付されています。これでは地元の企業を元気づけられないまま、雇用を生み出せません。

労働者を首切り。今1社に20億円の企業誘致の制度があるが、これを地元のモノづくりに企業につき込めば、連関する西陣など和装産業は元気にあります。私の提案を持って訪問する中でも「それには同感。行政はもっと支援すべきだ」の声が上がりました。

京都府には470億円の財源があります。国から緊急雇用や経済対策の「基金」や「交付金」が交付されています。これでは地元の企業を元気づけられないまま、雇用を生み出せません。

消費税増税に、きっぱり反対

民主党は法人税率を5%引き下げ、庶民には消費税の増税。西陣の7割の法人は赤字で、法人税減税は、まったく関係ありません。儲かっている大企業だけが得をします。カネ余りの大企業には、応分の負担を求め、消費税の増税にきっぱりと反対します。

日本共産党大演説会

2月25日（金）

午後6時45分から

北区の府立体育館にて



初天神で訴える さこ、くらた、中村